

## 緑窓会長退任挨拶

村上龍夫

### 「21年間会員皆様に感謝・ありがとうございました。」

緑窓会会員の皆様におかれましては、日々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと平成11年4月の総会で津田会長の後を受けて同窓会長に就任いたしました。あれから今年度（令和2年3月）まで21年間務めることができました。これも偏に役員皆様のご支援、ご協力のお陰と深く感謝しこの場をお借りいたしまして心よりお礼申し上げます。いま振り返ってみますと当時は果たして会長職を全うできるのだろうか、何から手を付けていけばいいのか本当に不安な日々でありました。しかしその思いとは裏腹に、会員の皆様から良き助言をいただき、協力も得ながら、先輩方が築いてこられたよき伝統を守り、次の世代へとバトンを渡せるよう21年間精一杯努力することができました。まずは組織作り、年1回の会報発行、創立50周年の一環事業として、かねてからの構想にもございました同窓会館の建設等が大きな目標の柱でありました。それもこれも会員皆様方のご協力のもとに無事事業を全て成し遂げることができ本当にありがとうございました。

いま、私の一番の記憶に残っていることは皆様も同じだと思うのですが、第95回全国高等学校野球選手権記念大会出場です。見事1回戦で島根県代表の石見智翠館高校を4対1で勝利し、甲子園球場において緑窓会会員の皆様と大きな声で校歌を歌ったのがうれしい思い出となっています。

少子化が進むなかで、本校もそのあおりを受けて、発足当時からありました伝統ある工業化学科が姿を消します。ただし、工業化学の学びは全科に取り入れられ今後も生かされていきます。また、昭和62年度より設置されました情報繊維科も科名を変え、内容も改め「ロボット工学科」になり、西脇工業高等学校が新たな一步を踏み出しました。

今後は藤原久和新緑窓会会長のもと、新たな緑窓会のますますのご発展を願います。これまでの歴代校長先生をはじめ、教職員の皆様、緑窓会会員の皆様、地域の皆様のご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。

コロナウイルスが未だ蔓延の中、私たち一人一人が、密室、密集、密接の三蜜を控え、会員の皆様と地域の皆様が一丸となってこの難局を乗り越えましょう。

最後に会員皆様方のご健勝を祈念し、長年のご支援に深く感謝申し上げまして、意を尽くせませんが退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。